



2025年3月

にこにこ食堂ざしきわらしの家の9回目の子ども食堂は、

2月24日、堀野の生きいき交流センターで、賑やかに、華やかに！

☆この日のメニューは、散らしご飯、すまし汁、鶏から揚げ、春色サラダ、さくらもち。ひな祭りの日を前に春爛漫のお昼ご飯です。調理キャップはベテラン管理栄養士の上柿智佳子さん。二戸市食生活改善推進員のメンバーが多く手伝ってくださっています。おいしいのはあたりまえ。見た目も優しくきれいな出来栄えに、お母さんたちから感嘆の声があがりました。鶏肉は、鶏王国北いわて推進協議会を通じて十文字チキンカンパニーから提供していただきました。お米は、ボランティア仲間の上野光子さんからの提供です。鮭処たけ田の厚焼き玉子は、もう定番です。

☆この日は、福高ボランティアの女生徒が19人も手伝にやって来てくれました。子どもたちの見守り&遊び相手班8人、調理手伝い班5人、受付4人、写真撮影班2人。みんな楽しそうに、それぞれのミッションを果たしてくれました。ボランティア担当の2人の先生に感謝です。

☆主役の子どもたちは20人超。正確にはカウントできませんでした。「料理が、とてもおいしかった」「からあげが、おいしかった」「さくらもち、おいしかったです。食べるのがもったいないくらい、きれいかわいかったです」「今度は、フルーツポンチが食べたいです」「カレーが食いたい」。料理の感想と同じくらい、遊びの感想も。「高校生のお姉さんたちと遊べて、楽しかった」という声が多くありました。「私は、この会のことを一生忘れません」と書いてくれたのは小学3年生の女の子です。一緒に遊んでくれた女子高生の名前を挙げて「とても楽しかったよ。大好きと言ってくれませんか？」とも。

☆95歳と91歳のおばあちゃんも来てくれました。「こんな楽しいことを、ありがとうございました」「テレビで観ている料理みたいで、とてもおいしく頂きました」などとの感想でした。送迎は、83歳のお爺ちゃんボランティアです。

☆保護者のお母さん、おばあちゃんたちのほか、明治安田生命保険からの助っ人、いわて生協からの差し入れ班、市社協のお姉さんたち、そしてにこにこ食堂ざしきわらしの家のボランティアを含めて総勢75人？大賑わいで、とても華やかな子ども食堂でした。

☆誰でも無料で、おいしいお昼ご飯を——という公民館子ども食堂イベントは、2022年11月13日の第1回から数えて9回目。3か月に1回程度の開催。近隣の小学校と保育所に案内チラシを届けるぐらいのPRしかしてきませんでしたが、それでも少しずつ定着してきたようです。「おいしい」「たのしい」が最高の反響です。ありがとうございます。

にこにこ食堂ざしきわらしの家管理人・田中信明

